

東京デスロック



劇団+現地バージョンツアー 三重バージョン出演者募集

同じ物語を3回繰り返すという特異な構造で、演劇界の常識を覆した東京デスロックの「再生」。まったく同じ演技を“再生する”今作は、俳優にとって非常に刺激的な挑戦の場です。三重県文化会館では、2022年7月、劇団バージョンと共にオーディション合格者による三重バージョンを制作、同時上演します。2週間にわたる滞在制作で、国際的に活躍する東京デスロック主宰・多田淳之介さんの演出を思う存分体感してみませんか？皆様からのご応募お待ちしております。



作・演出 多田淳之介
(東京デスロック主宰)

この作品は常に「生きていること」を扱っています。構造は単純で30分の芝居を3回繰り返しながら、再生できない時間や命を描きます。生きていることを表現するのに生きている身体を超えるものはありません。それはこれまででも、そしてこれからも演劇が持つ使命だと思っています。三重では久々の作品上演になります。現地バージョンでは、今ここで生きていることを、繰り返し、繰り返せず、それでも進みゆく今この時間と命を、演劇を使ってライブしたいと思っています。ぜひ演劇への愛と人生の悲喜交々をもってご参加ください。

【多田淳之介】1976年生まれ。神奈川県出身。演出家。東京デスロック主宰。古典から現代戯曲、ダンス、パフォーマンス作品まで幅広く手がけ、現代社会に於ける当事者性をアクチュアルに問い続ける。公共ホールや自治体、フェスティバルなどのアートディレクターを歴任し、全国の学校や文化施設での創作やワークショップ、韓国、東南アジアとの国際共同製作など幅広く活動する。2014年韓国の第50回東亜演劇賞演出賞を外国人として初受賞。東京芸術祭共同ディレクター／ファームディレクター。四国学院大学、女子美術大学非常勤講師。

【東京デスロック】多田淳之介を中心に2001年より活動開始。大都市集中型ではない活動を目指し2009年より東京公演休止を宣言。2011年より「地域密着、拠点日本」を宣言し、全国の地域で活動する劇場や劇団とのコラボレーション、ヨーロッパ、アジアでの公演など国内外問わず活動する。韓国の第12言語演劇スタジオとは2009年以来共作を続け、2014年には『ガムサ カルメギ』が韓国で最も権威のある東亜演劇賞を受賞。近年では舞台と客席の境目のない体験型の作品も多く、様々な演劇的手法で観客との“現在”の共有を目指している。

[オーディション日時] 2022年4月24日[日] 13:00-15:00 / 16:00-18:00 ※いずれかの時間で調整します

[会場] MIE CENTER FOR THE ARTS 三重県総合文化センター 三重県文化会館 レセプションルーム
〒514-0061 三重県津市一身田上津部田1234

[参加費] 無料

[参加条件] 高校生以上/国籍・性別不問
右記の公演スケジュールに参加可能な方。7名程度。

※応募者多数の場合は、書類選考あり
※稽古場所は全て三重県総合文化センター内です。
※出演料のお支払い/チケットノルマ等の負担はございません。
※稽古・公演にかかる交通費・宿泊費等は自己負担です。

[申込方法] 裏面の申込用紙に必要事項をご記入いただき、以下のいずれかの方法でお申込みください。(申込用紙は会館WEBサイトからもダウンロードいただけます)

- 【MAIL】 kenbun@center-mie.or.jp
※件名を「東京デスロック「再生」オーディション申込」と明記ください。
【郵送】 〒514-0061 三重県津市一身田上津部田1234
三重県文化会館 「東京デスロック「再生」オーディション」係 宛
【窓口】 三重県文化会館 チケットカウンター (10:00-17:00 / 月曜または月祝翌平日休館)

[申込締切] 4月11日[月] 必着 ※オーディションにご参加いただける方には、4月17日[日]までに詳細をお送りいたします。

[お問合せ] 三重県文化会館 事業課演劇事業係 059-233-1100 (10:00-17:00 / 月曜または月祝翌平日休館)